

1. 建築概要

工事名称

(仮称) 蒲郡すみれ 看護小規模多機能 新築工事

建築場所

愛知県蒲郡市

工 期

着 工 令和 年 月 日 完成 令和 年 月 日

建物用途

建築面積

m²

延床面積

m²

階 数

地下 階 地上 階

構造種別

☐S造 ☐SRC造 ☐RC造 ☒木造

法定構造

☐木造 ☐準耐火 ☐耐火 ☐内装制限 ☐有 ☐無

2. 一般事項

1. 本工事は本設計図書並びに特記仕様書に準拠し、当社機械設備工事標準仕様書又は日本建築家協会編 建築設備工事共通仕様書を準用し施工すること。

2. 製作又は施工に必要な図面及び工程表は遅滞なく作成し、担当者の承諾を受けること。

3. 施工上の納まりや取合の関係で、機器及び材料の取付位置又は取付工法について止むを得ず行なう軽微な変更は担当者の指示によって行なう。

尚、この場合、該負金の増減は行なわない。

又、設計図書に記載なきものであっても、施工上又は法規上当然と思われるものについては、請負者の負担で施工するものとする。

4. 工事の施工に際しては、関係の法令、条例等を厳守し、関係官公署及び水道、下水道、ガス事業者等に対する手続を遅滞なく行なう。

5. 工事完了後、竣工図書を遅滞なく作成し、担当者に提出すると共に機器及び装置の取扱い説明を行ない引渡しを行なうこと。

3. 工事項目

●印をつけたものを適用する

●給水設備工事

●排水通気設備工事

●衛生器具設備工事

●給湯設備工事

○ガス設備工事

○浄化槽設備工事

○排水タンク設備工事

●消火設備工事

○冷暖房設備工事

○換気設備工事

○圧縮空気配管設備工事

○排煙設備

○工場、作業所用冷却水配管工事

4. 工事項目

●印をつけたものを適用する

① 給水設備工事

給水方式 ☒水道直結 ☐高架水槽 ☐加圧給水方式

水 源 ☒公共水道 ☐井 水

受水槽 ☐本工事 (FRP製○単板 ☐複合板)

○別途 ☐既設

高架水槽 ☐本工事 (FRP製○単板 ☐複合板)

○別途 ☐既設

量水器 ☒貸与 ☐私設 親メーター 25 mm× 1 箇所

○私設 親メーター m³/m

② 排水通気設備工事

排水方式 雨水排水 ☒単独 ☐合流 ☐別途

屋内、汚水雑排水 ☐分流 ☒合流 ☐別途

屋外、汚水雑排水 ☐分流 ☒合流 ☐別途

雨水排水 ☒本工事 ☐建築工事 ☐別途工事

放流先 ☒公共下水道接続 ☐側溝、水路 ☐河川 ☐海

③ 衛生器具設備工事

④ 給湯設備工事

給湯方式 ☒個別方式 ☐中央方式

熱 源 ☒電気 ☐ガス ☐油 (灯油、A重油) ☐ソーラ

5—ガス設備工事—ガス会社責任施工

☐都市ガス 種別 k a l / m³

☐プロパンガス 種別 k a l / k g

集合装置 (k g × 本用)

ガスメーター ☐含む ☐親メーター ☐ケ ☐小メーター ☐ケ ☐含まない

6. 保温防露仕様

A グラスウール保温管＋鉄線 屋内隠ベ

B グラスウール保温管＋鉄線＋ビニールテープ ”

C グラスウール保温管＋鉄線＋原紙＋綿布 屋内露出

D グラスウール保温管＋鉄線＋アスファルトルーフィング＋鉄線＋SUSラッキング 屋外露出

E グラスウール保温管＋鉄線＋アルミガラスクロス 屋内隠ベ

F グラスウール保温管＋鉄線＋アスファルトルーフィング＋防水麻布 埋 設

G アスファルトジュート巻の上、加熱融着又は防食ビニールテープ巻 ”

H グラスウール保温管＋鉄線＋アスファルトフェルト＋ビニールテープ 屋内露出

I グラスウール保温管＋鉄線＋アスファルトフェルト＋原紙＋綿布 ”

J グラスウール保温管＋鉄線＋アスファルトフェルト＋アルミガラスクロス ”

※冷水、冷温水、冷媒管についてはグラスウール保温管をフォームポリスチレン保温管3号に読みかえることができる。又保温厚さについては標準仕様書に依る。

屋内隠ベ

屋内露出

埋 設

屋外露出

1 給 水 管

A J D

2 排水管・ドレン管

A J D

3 給湯管・温水管

4 消 火 管

A J D

5 冷 温 水 管

6 冷 媒 管

A J D

7 蒸 気 管

7. 工事区分

該当する区分欄に●印を記入のこと

NO

工 事 項 目

区 分

備 考

1 鉄骨梁の貫通スリーブ

●

2 RC梁の貫通スリーブ

●

3 躯体壁、床の穴明 (設備用)

●

●

4 スリーブ、開口部廻りの鉄筋補強

●

5 特殊仕上材の穴明及び下地補強

●

ALC、PC版、大理石、テラゾー等

6 天井穴明及び下地補強

●

7 シャフト最上部の立上げ雨仕舞

8 重量設備機器のための床構造補強

9 設備機器の基礎及び仕上

●

10 コンクリート製各種水槽

防水タラップ、マンホール蓋共

11 地中埋設オイルタンクの躯体及び仕上

12 浄化槽工事

13 受水槽の基礎

14 ポンプの基礎

●

15 マンホールの化粧蓋

16 ポンプ小屋及びフロパンポンベ小屋

17 機械室、厨房、ドライエリア等の排水溝

●

18 ユニットバス

●

19 洗面化粧台及びメディシンキャビネット

●

20 換気扇及びフード (取付枠共)

21 天井床、シャワ等に取付く点検口及びシャワ

●

22 煙突及び排煙口

23 洗濯機用防水パン

●

24 浴槽及び釜

給排水器具

25 流し台、ガス台、吊戸棚

●

26 厨房器具

金網、コーキング共

27 外壁面取付の給排水ガラリ

28 機械排煙口

29 ドアガラリ

30 レーターンガラリ

31 厨房フードの化粧囲い

32 フロートスイッチ

33 液面制御スイッチ

34 煙感連動ダンパー

35 同上用感知器制御壁及び配線

36 設備機器の制御壁及び二次側配線

●

附属操作盤を有する機器は除く。

37 自動制御機器及び電気配管、配線

●

38 オイルタンク給油用連絡装置

インターホン又はベル

39 ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰ用ﾌｧﾑｼﾞ井の電気配管配線

40 ｵｲﾙﾝ 二酸化炭素 泡消火設備の報知音響装置

配管、配線共

41 防災設備作動時の各種インターロック

42 パッケージの電気ヒーター等の制御壁

二次側配線共

43 空冷ルームエアコンの室内外機器間電気配線

44 クーラー、温風暖房器用スリーブ

化粧蓋共

45 避難器具

46 運動運転機器の各種入インターロック

47 給水本管引込工事

●

48 下水本管接続工事又は排水路接続工事

●

49 消 火 器

●

8. 特記補足事項

1. 耐火構造の防火区画等を貫通する給水、排水、その他の管は建基法第129条の2第1項第7号に基づき前後1m以内にある部分を不燃材料で造ること。

2. 重塩害地域のため、全ての機器類は重塩害仕様とすること。

3. 本工事は既設設備再利用部分が多くあることから、既設接続箇所・分岐箇所・撤去断管箇所の保温断熱材の補修は結露無きよう補修を実施すること。

4. 冷暖房用の冷温水管において改修後使用しない系統についてはバルブ閉止とし、供用使用開始後における結露防止に務めること。

9. 別途工事

●契約以降の法規改正及び地方自治体指導による変更事項

●給排水ガス負担金、加入金

○建物より1m以降配管及び接続樹工事

10. 諸官庁に対する打合せ事項

1. 水道事業所 TEL 担当者

2. 消 防 署 TEL 担当者

3. ガス会社 TEL 担当者

4. そ の 他

11. メーカーリスト

右記又は同等品以上とする

機器及び材料

製 造 業 者 名

銅 管

新日本製鉄、住友金属、日本鋼管、川崎製鉄

銅 管 継 手

日立金属、日本鋼管、理研

ドレネジ継手

大阪ドレネジ、日立金属

塩ビライニング鋼管

新日本製鉄、住友金属、日本鋼管、川崎製鉄

銅 管

住友軽金属、古河金属、三菱金属、神戸製鋼

硬 質 塩 ビ 管

久保田鉄工、積水化学、三菱樹脂、アロン化成

鉛 管

日本鉛管、芳沢鉛管

鋳 鉄 管

久保田鉄工、東本鉄工

弁 類

東洋バルブ、北沢バルブ、大和バルブ、三吉バルブ

フレキシブル継手

管我部、トーゼン産業

伸 縮 継 手

フシマン・ベン

衛生器具及び水栓類

TOTO、INAX

排 水 金 物

中部、福西、関西鉄工、カネソウ、小島、伊藤鉄工、第一機械、長谷川

マンホール蓋類

” ” ” ” ” ” ” ” ” ”

消 火 機 器

立売置製作所、消火栓機工、横井製作所、村上製作所、南北製作所

ボ ン ブ 類

在原製作所、極東機械、日立製作所、川本製作所

樹 脂 製 水 槽

三菱樹脂、ブリチ`ストン、積水化学、日立化成、ヒラタ

ボ イ ラ ー

巴商會、昭和鉄工、前田鉄工

湯沸器、電気温水器

パロマ、三菱電機、リンナイ、ノーリツ

浄 化 槽

フジクリーン、INAX

厨 房 器 具

吹出口、吸込口

新晃工業、不二工、丸光

自動制御機器

山武ハネウエル、東京計器ランディスギヤ、サギノミヤジョンソン

冷媒機 (チラー)

冷 却 塔

ﾊﾞｯﾁｰｼﾞ型エアコン

三洋電機、ダイキン

ｽﾔｰﾊﾞﾄﾞﾘﾝｸﾞｴﾝｼﾞ

ファンコイルユニット

ルームエアコン

換 気 扇

三菱電機、松下電器、東芝

防 振 装 置

12. 凡 例

名 称

記 号

名 称

記 号

給水管 (市水)

―――

減圧弁

――①――

給水管 (2次給水)

―――

温度調節弁

――②――

給 湯 管 (往)

――|――

電動弁

――③――

給 湯 管 (循環)

――//――

電磁弁

――④――

膨脹管

――E――

空気抜き

――△――

排水管

――

蒸気トラップ

――⑤――

排水管

――⑥――

圧力計

――⑦――

排水管

――=――

連成計

――⑧――

排水通気管

――

温度計

――⑨――

消火管

――X――

ストレーナー

――⑩――

連結送水管

――XS――

油ストレーナー

――⑪――

ガス管

――G――

量水器

――M――

蒸 気 管 (往)

――S――

給水、給湯、混合栓

――⑫――

蒸 気 管 (還)

――SR――

洗浄弁

――⑬――

給 油 管 (往)

――O――

ボールタップ

――⑭――

給 油 管 (還)

――OR――

シャワー

――⑮――

油通気管

――OV――

散水栓

――⑯――

冷却水管 (往)

――C――

水栓柱

――⑰――

冷却水管 (還)

――CR――

床上掃除口

――⑱――

冷 水 管 (往)

――CD――

床下掃除口

――㉑――

冷 水 管 (還)

――CDR――

床排水金物

――㉒――

温 水 管 (往)

――H――

排水目皿

――㉓――

温 水 管 (還)

――HR――

排水供給

――㉔――

冷温水管 (往)

――CDH――

トラップ樹

――㉕――

冷温水管 (還)

――CDHR――

インバート樹

――㉖――

冷水管、温水管 (往)

――CH――

溜 樹

――㉗――

冷水管、温水管 (還)

――CHR――

公設樹

――㉘――

冷媒液管

――RL――

屋内消火栓

――㉙――

冷媒ガス管

――RS――

屋外消火栓

――㉚――

ドレン管

――D――

放水口

――㉛――

圧縮空気管

――A――

送水口

――㉜――

伸縮継手

――□――

ガスカラン

――㉝――

防振継手

――㊀――

ガスメーター

――㊁――

フレキシブル継手

――㊂――

サーモスタット

――㊃――

トラップ

――U――

ヒューミディスタット

――㊄――

埋設弁

――㊅――

逆止弁

――㊆――

仕切弁、玉形弁

――㊇――

安全弁、逆止弁

――㊈――

設計監理 R Y O 設計株式会社

〒 640-8328 和歌山市木田町4丁目8番地
TEL 073-427-2951 FAX 073-427-3951

RYO ASSOCIATED ARCHITECT

1級建築士登録番号 第125982号 松本良二
1級建築士事務所登録 第 (リ) 278

(仮称) 蒲郡すみれ 看護小規模多機能 新築 工 事

DRAWING TITLE

特記仕様書

CHEET No.

SCALE

DATE

DESIGNER

No.

M-O 1

2025年 7月28日出力